

アルカリイオン整水器専用水栓施工・取扱説明書

専用水栓施工概略図

この施工・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工し、ご使用下さい。

お客様へ

この取扱説明書は必ず保管して下さい。

施工工事店様へ

施工後、この説明書をお客様へお渡し下さい。

適切な施工条件

給水圧力 0.05MPa～0.75MPa

※整水器の仕様に合わせ必要に応じて減圧弁を使用して下さい。

安全上のご注意

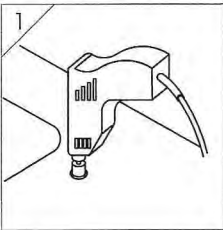
- ご使用前に、「使用上の注意事項」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 施工完了後、試験運転を行ない異常が無い事を確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明して下さい。

<施工上の注意事項>

注意

- 取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流して下さい。
- 必ず同梱の部品をご使用下さい。(他社類似品を使用しないで下さい。水漏れ、破損等に繋がる恐れがあります。)
- 専用水栓は障害物がなく、レバー操作スペースが確保できる場所に設置して下さい。
- 専用水栓は、水栓本体を支えられる強度のある場所に設置して下さい。
- 銅管を給水管や整水器に接続する際に無理に折り曲げないで下さい。器具の破損や水漏れの原因となります。
- 飲用不可な井戸水は使用しないで下さい。
- 凍結が予想される地域には使用しないで下さい。凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

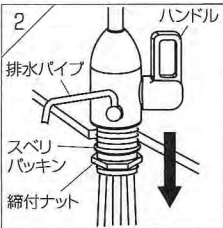
水栓施工・止水栓・整水器への取付方法



天板に専用水栓取付け用の穴を開けます。取付け位置を確認して、ドリルで穴を開けて下さい。

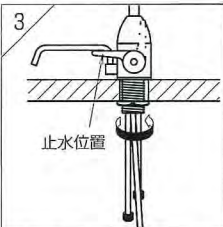
(取付け穴径：直径36mmを基準とし 35～37mm)

(注) ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合は、キッチンメーカーにご相談下さい。



締付ナット、スベリパッキンを外し、専用水栓を穴に差し込みます。スベリパッキン、締付ナットを組み付けます。スベリパッキン、締付ナットの順に組み付けて下さい。

(注) 水栓本体の向きは、排水パイプが正面(ハンドルが右側になっている)になるようにして下さい。



専用水栓を固定します。締付ナットをレンチ等で締付けて固定して下さい。

(注) 水栓本体を固定する前に、取付け穴周囲の汚れを取除いて下さい。

(注) 専用水栓のレバーハンドルは止水位置にして下さい。

①給水パイプの配管

ホームチューブ等を使用し、給水パイプと止水栓を接続します。

(注) 逆止弁金具は出荷時に本締めしてありますが、施工時、通水前にはレンチを用いて確実に締まっている事を確認して下さい。

(締付けが不完全な場合、水漏れする恐れがあります。)

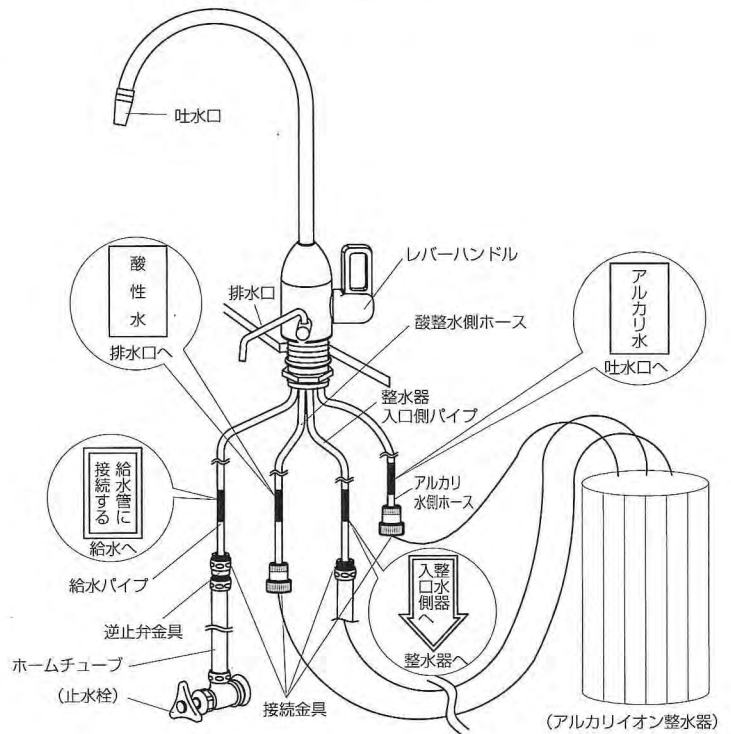
②アルカリイオン整水器への配管方法

給水側に接続するパイプと整水器入口側パイプの接続金具、アルカリ水側のホースと酸性水側ホースの接続金具をレンチ等を用いて確実に締付けて下さい。

(締付けが不完全な場合、水漏れする恐れがあります。)

尚、給水パイプには「給水管に接続する」のシール、整水器側のパイプには「整水器入口側へ」のシール、アルカリ水側ホースには「アルカリ水」のシール、酸性水側ホースには「酸性水」のシールが貼ってありますので、シールに従って接続して下さい。

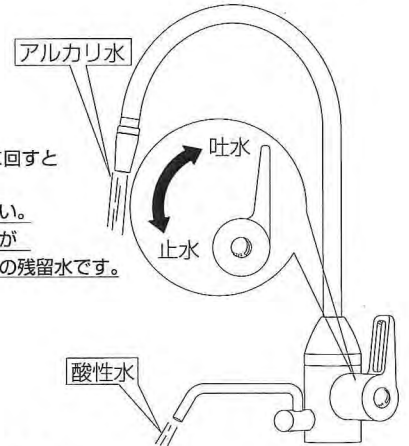
(注) 金具を締付ける際に極度に締付け過ぎますと、パッキンが潰れることにより不具合が起こる場合があります。締付け過ぎにご注意下さい。締付けトルクの基準は20N・mになります。



ご使用について

ご使用について

- ハンドルを上に戻すと吐水し、下に戻すと止水します。
- (注) 衛生上、吐水口を汚さないで下さい。
- (注) 止水後、吐水口からしばらく水滴が落ちる事がありますが、整水器内の残留水です。故障ではありません。



お手入れ

表面が汚れたら、柔らかい布で拭いて下さい。汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を使用し汚れを取り除いて下さい。

<使用上の注意事項>

注意

- 水道水の水質基準に適合した水をお使い下さい。体調を損なう恐れがあります。
- 水圧の高い所では元栓を絞ってお使い下さい。
- 流体の使用圧力は、0.75MPa以下でご使用下さい。規定圧力を超過して使用すると器具の性能に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 30℃以上の温水は通さないで下さい。器具の機能低下や破損の原因となり水漏れ、水浸し事故の恐れがあります。
- 吐水口を塞いだりホースや他の器具を接続しないで下さい。
- 高温になった器具や火気の近くではご使用にならないで下さい。(熱によって変形したり、破壊する恐れがあります。)
- 分解しないで下さい。
- 次のものは使用しないで下さい。変色や傷、漏水につながる恐れがあります。
 - 酸性・アルカリ性及び塩素系の洗剤(特に酸性洗剤はメッキを侵します。)
 - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の洗剤や油類
 - クレンザー等の粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわし等



日本工業規格認証取得工場 ISO9001・14001認証登録
Mizsei 株式会社 水生活製作所

〒501-2104 日本岐阜県山県市東深瀬94-2

URL <http://www.mizsei.co.jp/>